

水稻の生育情報

「コシヒカリ」は出穂期をむかえています。適切な水管理を行いましょう。

概況（7月21日 水稻定点ほ場調査結果から）

本年、7月中旬の気温は平年よりやや高く、日照時間は平年と同等に推移しました（図1）。
水稻の生育は、草丈・茎数は平年並み、葉色は濃く推移しています。5月上旬植えの「コシヒカリ」は、7月下旬に出穂期となっています（表）。

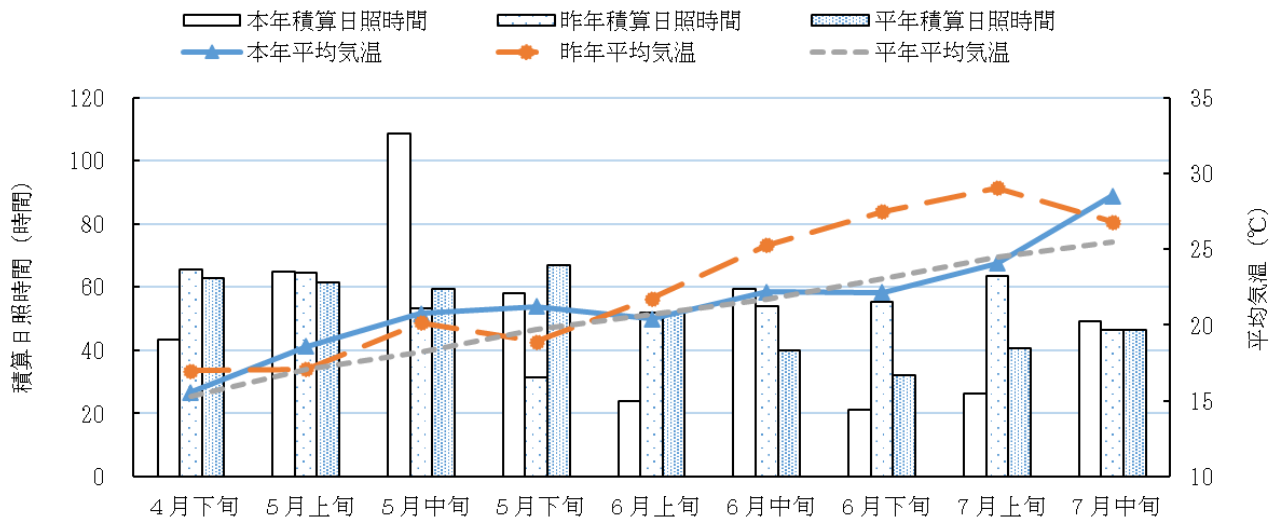


図1. 4月下旬から7月中旬の旬別平均気温と日照時間（古河）（注）平年値は1991～2020年の平均値表。「コシヒカリ」定点ほ場の生育調査結果（令和8年7月21日現在）

調査地点	田植日 (月/日)	植付本数 (本/株)	栽植密度 (株/m ²)	草丈 (cm)	茎数		葉色 (葉色板)	幼穂長 (mm)	出穂期 ※2
					(本/株)	(本/m ²)			
坂東市	4/28	4.6	18.5	105	24	448	4.8	-	7/21
	(4/25)	(4.8)	(15.5)	(109)	(29)	(451)	(4.0)	(-)	(7/20)
境町	5/17	4.5	16.7	93	21	353	4.2	158	7/31
	(4/27)	(4.5)	(14.9)	(108)	(31)	(442)	(3.8)	(-)	(7/24)
五霞町	5/5	4.8	15.9	99	28	450	4.1	-	7/25
	(5/6)	(5.1)	(15.6)	(100)	(28)	(443)	(3.5)	(-)	(7/29)
古河市	5/5	4.5	15.9	99	24	387	4.1	-	7/23
	(5/9)	(4.6)	(17.1)	(98)	(25)	(429)	(3.7)	(-)	(7/26)
4調査	5/6	4.6	16.7	99	25	410	4.3		
地点平均	(5/1)	(4.8)	(15.8)	(104)	(28)	(441)	(3.7)		

※()内は過去5年間の平均値。

※2 出穂期は、7月21日以降に調査。

今後の栽培管理

・出穂後30日間は3～4日間隔で入水と落水を繰り返す「間断かん水」を続けましょう。
「間断かん水」により根の活力が維持され乳白粒発生の軽減へつながります。
・白未熟粒の発生低減のため追肥を行いましょう。高温対策として出穂期の葉色が淡い場合は、10a当たり1kg程度の実肥を行いましょう。

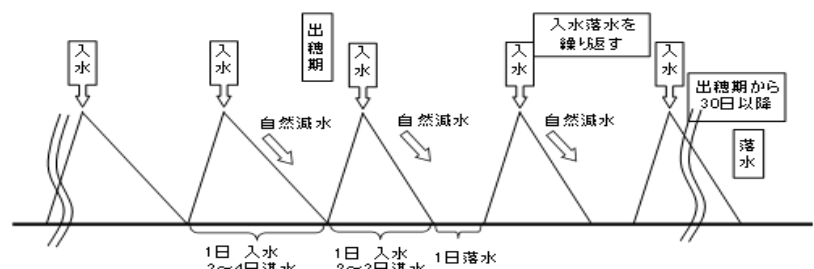


図2 出穂後の水管理

「暑さに負けない米づくり」チラシ
茨城県、JAグループ茨城 令和8年2月

